

令和5年度 甲府市社会福祉審議会

第2回全体会

議 事 録

甲府市福祉保健部総務課

令和5年度 甲府市社会福祉審議会第2回全体会

開催日時：令和5年6月27日（火） 14時00分～16時00分

場 所：甲府市役所本庁舎 6階 大会議室

出席委員：丸山正次委員長、外川伸一委員、山田文夫委員、佐藤一男委員、柄沢眞委員、
茅野昭勇委員、潮かち子委員、志田昌子委員、加藤真紀子委員、古屋知子委員、
小田切利幸委員、越水眞澄委員、岡村昌典委員、神吉まゆみ委員、深沢健吾委員

欠席委員：星野和實委員

担 当 課：【福祉保健部】

八巻福祉保健部長、山村保健衛生監、望月福祉保健総室長、渡辺保険経営室長、
千田健康支援室長、樋口保健衛生室長

田中障がい福祉課長、藤本介護保険課長、神宮寺健康保険課長、
川又健康政策課長、三枝医療介護連携担当課長、渡辺地域保健課長、
山本母子健康課長

【子ども未来部】

渡邊子ども未来総室長、小山田子育て支援課長、田野口子ども保育課長

【甲府市社会福祉協議会】

中澤地域福祉推進課長、向山ボランティア振興課長

事 務 局：窪田福祉保健部総務課長、神田課長補佐、保坂係長、蔦木作業主任

傍 聴：2名

【第2回全体会】

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 報告
- 4 議事
 - (1)「第4次 健やかいきいき甲府プラン」に定める事業の進行管理及び評価について
 - ① 地域福祉推進計画
 - ② 保健計画
 - ③ 子ども・子育て支援計画
 - ④ 障がい者福祉計画
 - ⑤ 高齢者いきいき甲府プラン
 - (2)「第5次健やかいきいき甲府プラン」計画策定について
 - (3)その他
- 5 閉会

○資料

- (1) 資料-1 数値目標設定事業実施状況（地域福祉推進計画）
- (2) 資料-2 数値目標設定事業実施状況（保健計画）
- (3) 資料-3 数値目標設定事業実施状況（子ども・子育て支援計画）

- (4) 資料-4 数値目標設定事業実施状況（障がい者福祉計画）
- (5) 資料-5 数値目標設定事業実施状況（高齢者いきいき甲府プラン）
- (6) 当日資料-1 甲府市社会福祉審議会経過報告
- (7) 当日資料-2 「第5次健やかいきいき甲府プラン」の計画策定について

◆会議の内容◆

1 開会

2 委員長あいさつ（要旨）

令和5年6月16日に「経済財政運営と改革の基本方針2023(骨太方針2023)」が閣議決定された。その中で社会福祉分野では、「全世代型社会保障制度」や「こどもまんなか社会」の実現が掲げられており、今後、市町村レベルでも検討が必要となると考えられる。

3 報告

事務局より、甲府市社会福祉審議会の経過報告を行った。質疑なし。

4 議事

(1)「第4次 健やかいきいき甲府プラン」に定める事業の進行管理及び評価について

①地域福祉推進計画

【委員】

いきいきサロンは毎年C評価であるが、サロン数が増えていないことが原因で評価が低いのか、目標値に対する参加者数が少ないことが原因で評価が低いのか。

【甲府市社会福祉協議会】

いきいきサロンがC評価である理由は、目標値に対する参加者数が少ないためである。当面は新型コロナウイルス感染症からの立ち直りを念頭に取組みを実施し、その後は、サロンの新規設立も検討したい。

【委員】

自治体連合会として全面協力をするため、積極的に取組みを実施してもらいたい。いきいきサロンの数は200箇所を目標にしてほしい。

【甲府市社会福祉協議会】

委員から挙げていただいた200箇所という数字も目指していきたい。一方で、現在活動しているサロンにおいて、運営が難しいサロンもある。活動中のサロンが継続できるよう、適切なフォローを実施したい。

【委員】

いきいきサロンについて、最終予算額と決算額が同額となっているが、活動サロン数が減少しているにも関わらず、決算額が減少していないのは何故か。

【甲府市社会福祉協議会】

サロン運営に関わる支援などに予算を使用するため、決算額は必ずしもサロン数と比例する訳ではない。

②保健計画

【委員】

指標⑤～⑬の実績値がないのはどのような理由か。

【健康政策課】

指標⑤～⑬は、次期保健計画に向けて実施するアンケート調査にて実績値を算出するため、現状、実績値が記入できていない。

【委員】

指標⑪の「ゲートキーパー養成講座修了者数」の動向を教えてください。また、本指標はアンケート調査に関係なく実績値を算出可能であると思われる。

【健康政策課】

現時点の累計人数で、3,140名がゲートキーパー養成講座を修了している。また、本指標は、今後、年度毎に実績値を記載していきたい。

③子ども・子育て支援計画

【委員】

病児保育事業は素晴らしい取り組みであるが評価が良くない。評価が良くない理由として、申し込み手続きが煩雑等の要因があるのではないか。

【子ども保育課】

ご指摘の通り、サービスの利用には、事前申請や併設されている医療機関の受診歴などが必要であり、体調が悪い時に即座に利用できるものではない。

【委員】

放課後児童クラブに関する評価について、確保量とは何のことを指しているのか。

【子ども保育課】

確保量とは、受け入れることができる児童の定員数のことを指している。

【委員】

希望者は、ほぼ全員放課後児童クラブのサービスを受けられているという認識で良いか。

【子ども保育課】

ご認識の通り。

【委員】

放課後子供教室について、「放課後児童クラブとの一体型の実施に努める」と記載があるが、現状、放課後子供教室と放課後児童クラブには、どのような差異があるのか。

【子ども保育課】

放課後子供教室は、教育的見地から、学校の余裕教室を利用して学習活動などを行っている。放課後児童クラブは、保育の観点から、両親が仕事している場合などに預かりなどを行っている。今後、関係部署で協議し、一体化する部分や分離する部分を整理したい。

【委員】

家庭教育講座について、以前は平日の午前中に開催されていた。現在は、共働きの世帯も多いと考えるが、どのような日程で開催されているのか。

【子ども保育課】

家庭教育講座は、現在でも、基本的に平日に実施している。

④障がい者福祉計画

【委員】

生活介護について、山梨県のホームページに記載されている事業者の定員数と、資料に記載の計画値に乖離があるが、事業者の定員数も加味して計画値を設定しているのか。

【障がい福祉課】

事業者の定員数や、市外からの利用者も加味して計画値を設定している。なお、計画値は3年前に設定したものであるため、現状と乖離が生じたと考える。

【委員】

新型コロナウイルスの流行により、施設では家族の面会すらストップする状況であり、精神障がい者や知的障がい者の自立した生活の障壁となっている。自立生活援助の達成率が低下していることは致し方ないが、オンラインでの支援など、障がい者の地域定着を図る更なる取組みが必要である。

【障がい福祉課】

貴重な意見として、参考にしたい。具体的な方策については、専門分科会で検討したい。

【委員】

グループホームの利用者数について、達成率が高いが、グループホームの許容量を加味して適切にサービス提供量をコントロールしなければ、施設の許容量を超えてしまい、グループホームから病院に戻されるケースが発生する。そのため、市ではそのような事態が発生しないように全体的な管理をしてもらいたい。

また、自宅にて引きこもり状態となっている障がい者に対する、外出に関するサポートについても、重要な点である。

【障がい福祉課】

貴重な意見として、参考にしたい。具体的な方策については、専門分科会で検討したい。

【委員】

身寄りのない障がい者等の行政手続きに課題を感じている。例えば、マイナンバーカードの申請について、身寄りがない寝たきりの方や精神障がい者は、委任状が書けずに申請ができないといった問題が発生する。そのため、市からの支援を望む。

【障がい福祉課】

貴重な意見として、参考にしたい。具体的な方策については、専門分科会で検討したい。

⑤高齢者いきいき甲府プラン

【委員】

施策①「健康づくりの推進」の「介護を必要としない人の割合」が 8 割程度であるが、全国的に見てどのような水準なのか。

【介護保険課】

全国的な状況は把握できていない。

【委員】

「介護を必要としない人の割合」について、分母と分子は何か。

【介護保険課】

分母は、65 歳以上の高齢者数であり、分子は、65 歳以上の高齢者のうち要介護認定を受けていない人数である。

【委員】

要介護認定を受けていない人の中にも、介護を必要とする人が存在することが想定されるため、このことを考慮した評価が必要だと考える。また、「介護を必要としない人の割合」という名称についても、必要に応じて見直してほしい。

【委員】

チームオレンジとは何か。

【医療介護連携担当課】

認知症初期の段階から、心理面・生活面の支援として、市町村がコーディネーターを配置し、地域において把握した認知症の方の悩みや家族の身近な生活支援ニーズ等と認知症サポーターをつなぐ仕組みのことである。なお、本事業の普及活動は、地域包括支援センターへ委託している。

【委員】

認知症サポーターは何名程度いるのか。

【医療介護連携担当課】

累計で約 1 万 7 千人が養成講座等を修了した。現在、実際に活動している人数は把握できていない。

【委員】

「認知症サポーターやキャラバンメイト等が、チームオレンジとして活動するチーム数」が少ないが、原因をどのように分析しているのか。

【医療介護連携担当課】

既存の地域支援団体に声掛けを行っているが、現状、チームの設置に至っていない。新規団体にも声掛けを行っており、今後、新たに 2 チームほど設置できる見込みである。

【委員】

高齢者に対して、キャラバンメイトはどのような活動を行うのか。

【介護保険課】

キャラバンメイトは、認知症サポーター養成講座の講師役となる。

【委員】

施策⑧「医療と介護の切れ目ないサービス提供の推進」について、「病院等の医療職及び介護職の方が、高齢者の在宅支援において連携が図れていると実感する人の割合」はどのように算出したのか。

【介護保険課】

専門職や医療職へのアンケート結果から算出した。

【委員】

なぜ、高齢者いきいき甲府プランは他の計画と異なり、「達成」、「未達成」の評価としているのか。積極的な変更理由があるのであれば、他の計画にも反映する必要があるのではないか。

【介護保険課】

前回までは、高齢者いきいき甲府プランも「A」、「B」、「C」、「D」の4段階のアウトプット評価としていたが、今回から直接的な成果を評価できるアウトカム評価に変更した。評価方法については、専門分科会にて改めて議論したい。

(2) 「第5次健やかいきいき甲府プラン」計画策定について

事務局より、「第5次健やかいきいき甲府プラン」計画策定について説明を行った。質疑なし。

(3) その他

第3回全体会は、11/7(火)14時から開催する。前回策定時からの、本市の福祉分野における動向・分析結果を説明し、基本理念等を協議予定である。

5 閉会